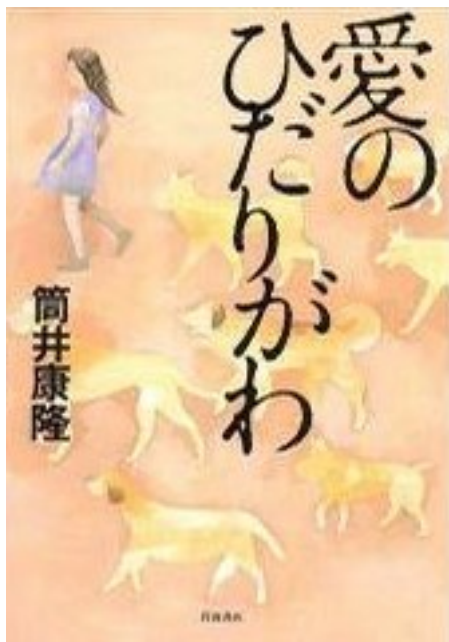


愛のひだりがわ



[愛のひだりがわ_下载链接1_](#)

著者:筒井 康隆

出版者:岩波書店

出版时间:2002

装帧:

isbn:9784000220057

[Amazon.co.jp](https://www.amazon.co.jp)

月岡愛は小学6年生。幼いころに野良犬のダンにかまれ、左腕が自由に動かない。住み込み先の夫婦や同級生らからいじめられる毎日の愛は、母親の死をきっかけに行方不明の父親を探す決心をする。自分の左がわにダンの妻デンを従えて東京を目指す愛。殺人、銃の乱射、強盗といった暴力がはびこる世界を旅する愛は、家族にうとましがられているご隠居さんや夫の暴力に耐える志津恵さん、両親を暴走族に殺された歌子さんらと出会いながら、次々と事件に巻き込まれる。

本書は、SFやブラックユーモアなど幅広いジャンルにわたる筒井作品の中で、『時をかける少女』や『わたしのグランパ』などの少年少女小説に分類される。リアリズム

ムの文体を用いながらも、犬と会話する主人公や空色の髪少年、母親の幽霊といった非現実的な設定をふんだんに取り入れ、ひとりの女の子の成長物語を感動的に紡ぎ出している。荒唐無稽な作り話に陥らずに、逆に現実世界の不条理を浮き立たせているのは、かねてから「マジック・リアリズム」や「メタフィクション」などの実験的な文学の方法を模索してきた筒井だからこそできる力技だ。

「現実の鏡として虚構が存在した時代は終わっている」と語る筒井が挑戦しているのは「現実が模倣し得ぬ虚構」（筒井康隆編『方法の冒険 21世紀文学の創造 3』より）の構築だ。野犬の群れと暴走族を従えて父親に会いに行くクライマックスでの愛の姿は、私小説を主流とした日本文学の固定概念から軽やかに飛翔している。虚構の楽しさを凝縮した本書は、子どもたちには小説のおもしろさを、大人たちには小説のさらなる可能性を示してくれるに違いない。（中島正敏）

出版社/著者からの内容紹介

幼いとき犬にかまれて片腕が不自由な少女、月岡愛。母を亡くした愛は、行方不明の父をさがす旅に出る。大型犬のデンとダン、不思議な老人や同級生サトルに助けられながら、少女は危機をのりこえてゆく。プロットのうまさ光る書き下ろし。

内容（「BOOK」データベースより）

幼いとき左腕を犬にかまれたため片腕が不自由になってしまった少女、月岡愛。母を亡くして居場所を失った愛は、行方不明の父を探すため旅に出る。大型犬のデンとダン、不思議な老人や同級生の片貝サトルに助けられながら、少女は危機を乗り越えてゆく。

内容（「MARC」データベースより）

幼いとき犬にかまれて片腕が不自由な少女、月岡愛。母を亡くして居場所を失った愛は、行方不明の父を探す旅に出る。大型犬のデンとダン、不思議な老人や同級生のサトルに助けられながら、少女は危機を乗り越えてゆく。

作者紹介:

著者略歴（「BOOK著者紹介情報」より）

筒井 康隆

1934年生まれ。同志社大学卒業。多数のSFのほかに『文学部唯野教授』など多岐のジャンルにわたる幅広い著作がある。映画、演劇、テレビなどにも出演して俳優としても活躍している(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録:

[愛のひだりがわ_ダウンロード1](#)

标签

日本文学

筒井康隆

爱的左边

日本

小说

评论

算是公路小说？有保持纯洁之心的男孩女孩拥有些微超能力的奇幻设定，有惊险时刻也有温情片段，前几章都是喂屎→吃糖→吃屎，后几章顺利发展到圆满结局，读下来极其顺畅，但没什么感触，像是在看流水账，算是筒井康隆的平庸之作

[愛のひだりがわ 下载链接1](#)

书评

筒井经历过断笔风波之后，又开始执笔写juvenile小说，距离時かけ已经过了30多年.在本作中我们能看到虚人たち中实验的影子，也能看到作者前一阵子流于小说技法的成果，在更加圆滑的手法中，实验已经变成了实践。
本作把12岁，左手残废的少女月岡愛投入到比现代社会更加残酷和混...

[愛のひだりがわ 下载链接1](#)